

平成 23 年度 第 5 回 CCC 社会学グループ運営委員会 議事概要

I. 日時 : 平成 23 年 12 月 2 日 (金) 14:00 から 16:00 まで

II. 場所 : 私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者: 津田委員、土屋委員、奥村委員

(事務局) 井端事務局長、森下主幹、松本職員

IV. 議事概要

検討内容: 学士力の実現に求められる教育改善モデルについて

- ・ 授業評価の方法
- ・ 教員の教育力

(1) 事務局長より、参考資料 1 「ファカルティ・デベロップメントと IT 活用」から、米国の大学におけるテニユア審査制度を調べた上で策定された「評価に必要な項目」について紹介があり、「求められる教員の教育指導能力」として、①授業の設計・評価・改善の能力、②学生主体授業の取り組み能力、③人間力向上への取り組み能力、④授業外での学習指導能力、⑤授業の質保証取り組み能力、⑥教育態度に関する能力、⑦教育に向けた提案・啓発の能力、があげられていることが示された。また、参考資料 2 「学士課程教育の構築において」では、「高度な専門職である大学教員に求められる専門性」についての取り組みが記されており、各学問分野の専門性とはなにかが重要な焦点になることが論じられた。今はまだできていない弱い点で、FD で教育力として支援できる専門性とはなにかを検討することが論点として示された。

(2) 委員から、教育改善モデル (その 1) にあたる導入演習について、すでになされている授業評価の取り組みに関する報告がなされた。この授業は複数のゼミで共通テーマに関する問題解決型の学習を行い、全授業終了後に全ゼミ合同の発表会を開催しているが、その際に 5 年間にわたって学生による評価アンケートを実施している。「熱心に参加したか」「合同発表会というやり方はいかがか」「自ら課題を見出し研究する姿勢を学ぶことができたか」などの項目に高い評価が得られているが、これが共通テーマ、合同発表会という仕掛けによってゼミを開くことによる効果であること、複数のゼミの学生にまとめて調査することで障害なくこうした評価アンケートが実施できていることなどが報告された。

(3) これを受けて討論がなされ、以下の論点が示された。

- ・ ある大学では学科入門科目が展開されているがレクチャー形式であり、基礎演習は学習スキルとコミュニティ形成に重点を置いている。(2) のような取り組みは、これまで担当している教員 (とくに非常勤講師) との関係から、変更するのが難しいところがある。
- ・ 基礎演習は専任教員のなかにはやりたくない者もあり、機械的に割り振るとクラスごとに雰囲気が違う場合もある。どうしても若手中心となり担当者問題が常に存在する。
- ・ 新任教員や助教が教育を始めるにあたり、組織として教育力を高める援助をすることが重要だと思われるが、なかなか実現されない。大学院を出て教育現場に行ったとしても、

ノウハウ・方法論などの蓄積がないままで、とくに基礎演習などには非常に苦勞するケースが多い。場合によっては「学級崩壊」のようなことも起こり、若手には教育が大きなハードルとなっている。

- ・TAからの意見のフィードバックや、教員同士の意見交換は授業の点検にとって非常に重要である。

- ・TAの重要な役割にTAがリアクションペーパーに回答するというものがあり、これは学生にとってもTAにとってもよい教育機会となる。ただ、それにはレベルの高い院生が必要であり、院生数が少ない段階では院生がTA疲れを起こすこともある。TAの確保は人脈で動いているところが大きく、教員刊の差も大きく、難しい問題である。

- ・TAとしてこうした経験をしているかどうか、就職したときに大きな相違になるだろう。こうした経験をすることが専門力+人間力につながると思われる。

(4) 授業評価について、以下の意見が交換された。

- ・授業評価について、新しい視点を提示してほしい。これまでにない斬新な方法はないだろうか。

- ・TAなどの声を点検・評価に反映していくのは重要である。とくに小規模な授業についてはそうだろう。

- ・授業をできるだけ他の教員に開いていく、という方向をとることが重要である。これは難しいことではあるが、隠さないで表裏なく見せ合うことができると教育力の進展につながる。たとえば他大学とのインターゼミなどもそうした効果があるだろう。

(5) 以上の議論を受けて、以下の課題が示された。

- ・「教育力」について、来年10月まで少しずつ項目を書きだしていき、冊子化したい。

- ・現在はここが弱いのでここを強化しようという点、FDで伸ばすべき教育力を具体化していきたい。

- ・そのために、社会学の「学識」とはなにか、社会学の「専門性」とはなにかを考えてほしい。これを「発見力」「統合力」「応用力」「教育力」に分けて考えるとどうなるだろうか。

- ・授業評価の方法についても、今回の記録整理をもとに考えてほしい。

次回委員会

- ・2012年1月20日（金）14:00から開催されることとなった。

以上